



Sawaru Glyph

触るグリフの利用方法

算数シートの利用について

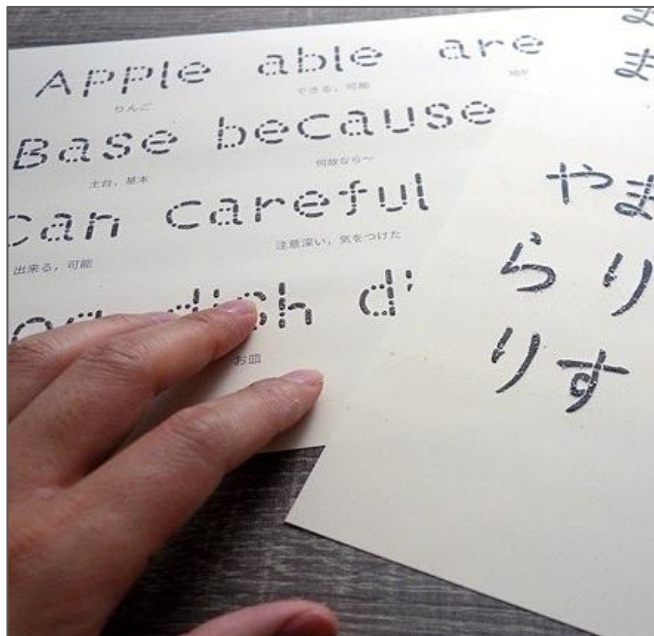
言語聴覚士 宮崎 圭佑

触るグリフとは？

「見ながら触れる」触読により、文字形状,綴り,漢字構造の認知記憶を促進させる**触読版シート**

従来の「**多感覚法**」に分類される認知学習手法

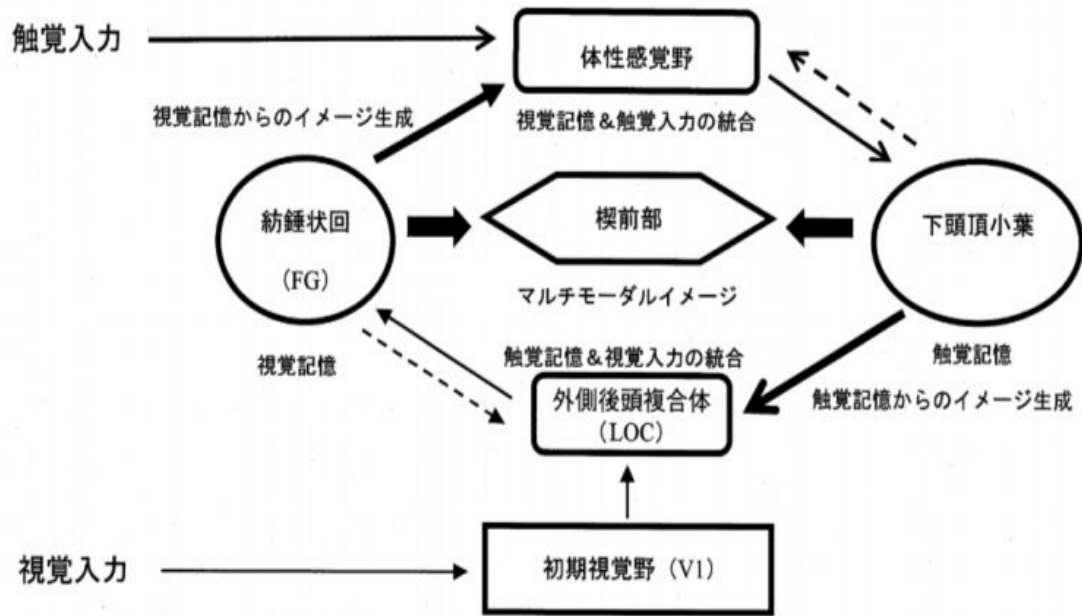
触覚-視覚間の認知的統合を利用して、記号や文字綴りの形状イメージを精緻化・補強促進させる効果が期待できる。



触るグリフの原理



触るグリフの原理は,上のQRコード先のWEBページで詳しく説明しています。ご参考にしてください。



Brain function mechanism of object recognition in 3D shape (Nishino,2008)

触るグリフ (算数シート)

14

数概念(基数性)

1 ● 2 ●● 3 ●●●

4 ●●● 5 ●●●●

6 ●●●●● 7 ●●●●●●

8 ●●●●●●● 9 ●●●●●●●●

10 ●●●●●●●●●

数量シート

$10 + 2 = 12$

●●●●●●●●●● ●● ●●●●●●

$5 + 7 = 12$

●●●●● ●●●●●●● ●●●●●●●●

$7 + 7 = 14$

●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●●●●

四則演算シート

$5 \times 1 = 5$ $6 \times 1 = 6$

$5 \times 2 = 10$ $6 \times 2 = 12$

$5 \times 3 = 15$ $6 \times 3 = 18$

$5 \times 4 = 20$ $6 \times 4 = 24$

$5 \times 5 = 25$ $6 \times 5 = 30$

$5 \times 6 = 30$ $6 \times 6 = 36$

$5 \times 7 = 35$ $6 \times 7 = 42$

$5 \times 8 = 40$ $6 \times 8 = 48$

$5 \times 9 = 45$ $6 \times 9 = 54$

九九シート

各触読版シートの特徴

・数量シート

「個数と量のイメージ」と「数字順列イメージ」を学ぶ触読版シート

・四則演算シート

「四則演算」を数式と凸パターンで可視化した触読版シート

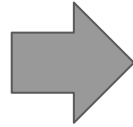
・九九シート

触読を利用して掛け算の九九を学ぶ触読版シート

触読版学習の順番

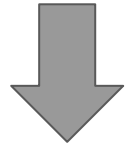
①最初の1週間

数量シートを「視ながら
触れて」音読する



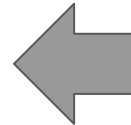
②次の2週間

四則演算シート
を「視ながら触れて」
音読する



③次の2週間

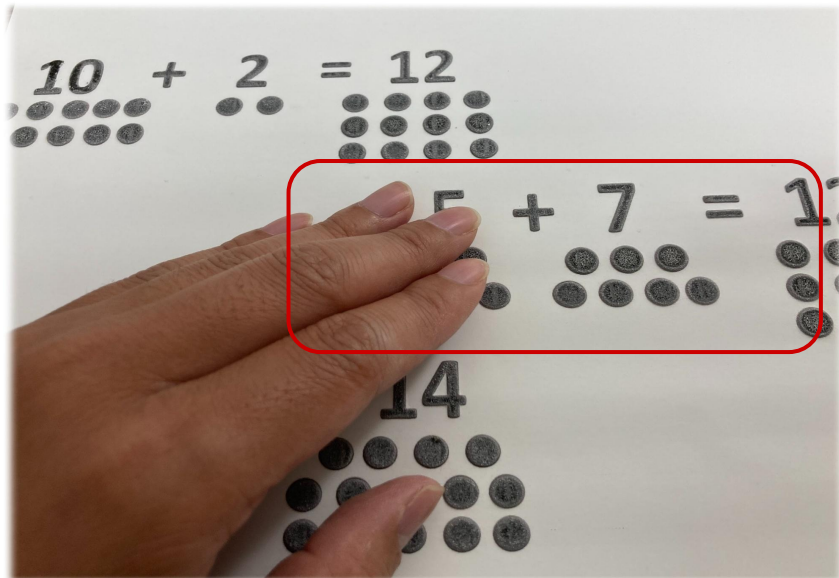
九九シート
を「視ながら触れて」
音読する



④最後の2週間

数量シート, 四則演算シート, 九九シート
を続けて「視ながら触れて」音読する

「視ながら触れる」学び方 (最重要)



触読版シートは手掌面で数字と凸部を一
緒に触れて読み込む

・視ながら触れて音読する

閉眼で触れて触読するのではなく、開眼
で視ながら触れて音読する

・触読版シートの触れ方

文字を「**手掌面**」で触れて「**数字**」と「**凸
部**」全体を読み取る

数字 & 数式を読み取りながら、個数や
数量を示す凸部も読み取る。

効果測定(数概念と四則演算)

数概念と四則演算の検査課題

数概念と四則演算能力の成績変化を調べる

客観的:主に初等教育の成績変化や日常生活での数の計画性を観察する

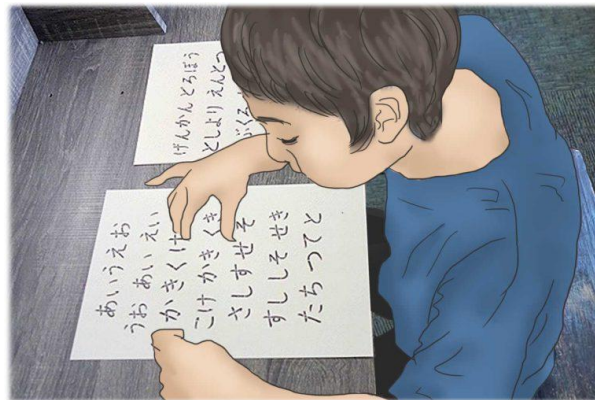
主観的:非顕在イメージなので、変化を自覚することは難しい。

効果の限界:基本的な数概念と四則演算イメージを促す目的であるので、作業記憶処理の伴う複雑な計算や、実行機能を必要とする文章課題などへの効果は弱いと考えられる。

詳しい使用方法について



触るグリフの利用方法の詳細については、QRコード先の「利用方法」のページ内動画をご確認ください。



利用に関するご質問は以下までお気軽にご連絡いただければ幸いです。

sawaru126@gmail.com



050-3556-3047